

日本ラグビーフットボール協会
登録チーム各位

日本協会安全対策委員会からのお願い

日本ラグビーフットボール協会
安全対策委員会委員長
佐々木 康

日本ラグビーフットボール協会では、ラグビー競技における重症事故を撲滅するため、報告された事故を安全対策委員会で分析し、そのデータに基づいた安全対策講習会を計画し、その内容を各都道府県協会のグラウンドレベルにまで落とし込むため、安全推進講習会を実施しております。

一昨年前までは、講義内容が選手に十分伝わっているかの確認のためにチーム内への伝達状況についての報告をいただいていたましたが、本年は実施しないこととしました。

本年の講習会の資料を含め、ホームページにて提供しますので、ご活用ください。

日本協会 HP 下部 「安全対策」のバナーをクリックして、「JRFUの安全対策について」のページに入り、サイトマップから「過去の講習会情報」を選んでいただくと、過去の講習会資料があります。

- H30 (2018) 年 安全なラグビーの実現に向けて
- H29 (2017) 年 年代別の安全対策 (Player pathway)
 - ◇ 初心者への段階指導
- H28 (2016) 年 タックルスキル、脳振盪管理
- H27 (2015) 年 WR コーチングツール (Rugby Ready)
- H26 (2014) 年 ラックでの安全対策
- H25 (2013) 年 H24 (2012) 年 脳振盪
- H24 (2012) 年 H23 (2011) 年 ラック
- H22 (2010) 年 体幹トレーニング
- H21 (2009) 年 安全なタックルをするために

以上